

## SurveyPlan Ver7.7.7.1 アップデート内容

### 1. 概要

今回のアップデートは測量業務において積算基準（標準歩掛）は同じ国土交通省監修の設計業務等 標準積算書を使用しているも、（発注者が使用する）積算ソフトにより、その端数処理等が異なる為、現在SurveyPlanが元になっている、国土交通省の方式での積算結果と金額が多少異なる場合があります、合わせて欲しいとのお客様からのご要望にお答えしたものです。

### 2. 変更内容

- 2-1 測量業務で単位数量当り単価の場合、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする処理を条件設定で一括で変更出来るようにしました。

（補足説明）これまでは工種編集により、補正数・端数の処理方法を工種毎に変更しなければならなかったのを補正数・端数の処理方法を測量／地質調査業務にしておけば条件設定でその切り替えが出来るようにしました。

- 2-2 測量業務で条件設定により、精度管理費を代価表で算出しないで、最後にまとめて直接経費で算出出来るようにしました。

（補足説明）農水省等の積算では、精度管理費で代価を算出しないで、最後にまとめて直接経費で算出する場合があります、その変更を条件設定で変更出来るようにしました。

- 2-3 測量業務で業務工種を工程毎に代価を算出して内訳表で工種毎の代価を算出していたのを工種毎に1つの代価で算出出来るようにしました。

（補足説明）業務工種を工程毎に代価を算出する方法では、業務工種の複写が簡単にできない事また積算ソフトによっては、工程毎の代価の算出を行わない物もあり、旧来ように業務工種毎に1つの代価で算出出来る業務工種も用意しました。

※その場合業務工種名称の後に（内訳区分なし）と表示されますが、見積書及び印刷時には（内訳区分なし）は表示／印字されません。

### 3. 使用方法

3-1 2-1、2-2の変更を見積書毎に行う場合は「4. 見積書の作成・編集」の「F10:条件設定」で次の「端末処理等の方法」及び「測量業務の場合、精度管理費の算出」で行って下さい。

※国土交通省の標準的な設定は次のとおりですので、確認の上設定して下さい。

見積項目の設定

システム情報設定

消費税項目を追加する(内訳表)       消費税項目を追加する(総括表)      一税率 10,000 %

冬期補正項目を追加する       冬期補正を外業数量で計算する

値引き項目を追加する       安全費率項目を追加する       岩手県 紙成果品費を追加する

合計金額の改め(丸め)項目を追加する      → 1万円未満丸め(切り捨て)

業務価格が1万円単位となるように、諸経費及び一般管理費で端数を調整(切り捨て)する

見積書表紙の印刷をExcelオリジナルフォーマットファイル「見積書表紙.xls」により行う

(電子) 成果品作成費項目を追加する。      説明(HP)

率を用いた旅費交通費

宿泊・滞在なし項目を追加する。       宿泊・滞在あり項目を追加する。       項目を追加しない。

端数処理等の方法

測量・地質調査業務(単位数量当り単価の場合、有効数字4桁とする処理)の有無

有効数字4桁(5桁目以降切り捨て)とする。       端数(有効数字)処理しない。

測量・地質調査業務(単位数量当り単価の場合、有効数字4桁とする)の場合、1円未満の処理

1円未満切り捨てしない。       1円未満切り捨てる。

その他の業務(端数処理は行わない)の場合の補正係数の計算方法

直接人件費に補正係数を掛ける。       金額合計に補正係数を掛ける。

測量業務の場合、精度管理費の算出

工種(工程)毎に代価表で算出する。       直接経費としてまとめて算出する。

F10      F9

変更確定      変更破棄

3-2 業務毎に設定を行う場合(新規見積書の作成時の設定)は「4. 業務の登録・編集・検索・一覧」の「F5:名称編集」で行って下さい。

業務名称編集

番号 1      種別 システム

業務名称 測量業務

分類名称 測量業務

補正数の計算方法       加算       乗算       混合

(電子) 成果品作成費項目を追加する

率を用いた旅費交通費

宿泊・滞在なし項目を追加する。       宿泊・滞在あり項目を追加する。       項目を追加しない。

補正数・端数処理等の方法

業務の種類については1業務の中に、測量・調査・設計等が混合している場合があるので、業務工程毎に設定します(システム設定の端数処理設定で変更を許可する必要があります)。

測量・地質調査業務(単位数量当り単価の場合、有効数字4桁とする処理)の有無

有効数字4桁(5桁目以降切り捨て)とする。       端数(有効数字)処理しない。

測量・地質調査業務(単位数量当り単価の場合、有効数字4桁とする)の場合、1円未満の処理

1円未満切り捨てしない。       1円未満切り捨てる。

その他の業務(端数処理は行わない)の場合の補正係数の計算方法

直接人件費に補正係数を掛ける。       金額合計に補正係数を掛ける。

測量業務の場合、精度管理費の算出

工種(工程)毎に代価表で算出する。       直接経費としてまとめて算出する。

備考

作成日時 2014/04/01 07:00      F10      F9

更新日時 2020/10/27 10:02      変更確定      変更破棄

以上